

青工研かわら版 7月号 vol 2



第2ブロック 第4回 ブロック会

テーマ 己に克て！ 4～未来を考えない者に未来はない！～

第2ブロック 第4回ブロック会の状況



- 開催日 2022年7月12日
時間 19:30～21:40
開催場所 商工会議所
担当者① 上林恒平 (株式会社マキシム)
<http://www.maxim-jp.com/>
担当者② 波多野佑典 (相模原ビジネス教室)
<https://www.sagamihara-biz-class.com/>

ブロック会の目的と手段

本ブロック会は、ビジョンを明確にし、自身・自社の未来像を実現する為に、強い想いを持って事業を進める事を目的として行われました。

担当ペアがそれぞれのビジョンと事業計画について説明し、ビジョンと事業計画の実現に向けてより良くする為の討議が行われました。

見えてきた2つのテーマ

討議の中で「危機感」と「自分をさらけ出す」という大事なテーマが見えてきました。

経営に対する「危機感」が無ければ、事業が前に進む事はなく、後退し、最悪は廃業してしまいます。

経営が上手くいっていない時に、「自分をさらけ出して」真実を語らなければ、真の解決策は見つかりません。



経営者としてビジョンを示し、事業計画を実現する為に担当ペア二人が経営者として足りていなかったものに気付きました。



担当者（企画者）① 上林恒平

今回のブロック会は、自身を見つめ直し切れていなかった事、さらけ出していなかった事、周りに流されている事等、多くのご指摘を頂きました。



流会になってしまいましたが、自身では気付けなかった事やさらけ出す事の本当の意味を知る事が出来ました。この結果を重く受け止め、自身の行動に繋げ、自社の経営に活かしていきます。

ブロック会後にコミットした、営業アポイントを毎月5社取っていき、3ヶ月後に売り上げ450万円を達成する為に、まずは会社案内の作成とリードの管理を行い、自社のPR活動と顧客獲得に取り組んで参ります。

担当ペアとして本ブロック会に参加しました。

「危機感」と「自分をさらけ出す」事は繋がっていると感じています。危機感があるからこそ、自分をさらけ出して、仲間に相談します。自分をさらけ出して話すからこそ、「危機が起きている事」または「危機が起きそうな事」を仲間から指摘して貰えます。

二つの言葉を忘れないようにしていきたいと感じたブロック会でした。

担当者（企画者）② 波多野佑典

ブロック会で様々な意見を頂き、ビジョン、事業計画の実現に向けて、背中を押して頂き、危機感を持つ事で、今後の行動に繋がるブロック会になりました。



特に上手くやる、綺麗にやろうとするなど、行動前に停滞している点や選択と集中を言い訳にして、これまで培ってきたものを止めようとする等、自分自身の計画の甘さや行動をコントロールが出来ておらず、己に負けているだけだと感じました。

危機感己に克つ為の源泉となり、行動に繋がります。以前の事業継続に対する危機感から、今後は自分自身が決めたビジョンや目標達成に対する危機感を行動に繋げて行きます。

ブロック会後にコミットした9月10日までに2社獲得に向けて、リード管理に取り組み、達成に向けて行動します。